

1 カリキュラム・ポリシー

経営学部では以下の方針に基づいて卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と各授業科目の到達目標の関連を明確にしてカリキュラムを設計しています。

- ① 経営分野で世界標準になっている科目を必修科目とし、コース別科目でさらに専門性を高める。【知識・理解】
- ② ビジネスで活用できる英語力を獲得するために、4技能を高めるELF（English as a Lingua Franca）科目と英語で経営学を学修する科目を配置して相互に連携を図る。【汎用的技能】
- ③ 世界の文化・社会に関心を持ち、グローバル社会において自らの意見・考えを発信できる科目を設置する。【態度・志向性】

2 カリキュラムの特徴

1 科目の構成

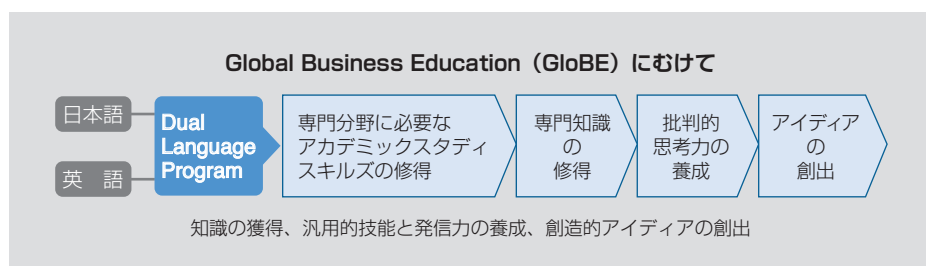
- 経営学分野で求められる能力を体系的に修得できるように科目が設置されています。卒業までに履修できる科目は、「ユニバーシティ・スタンダード（US）科目」「自学科科目」「他学部他学科科目」「他大学との単位互換科目」から構成されています。
- ユニバーシティ・スタンダード（US）科目では、経営学分野の導入科目と英語による国際コミュニケーション能力の養成（学術分野で必要とされる基礎的な英語力養成含む）目的とする科目を必修とし、その他学部指定科目を含む科目を選択履修することができます。
- 自学科科目は、経営学を学ぶための基幹科目を中心に、学科共通必修科目、学科コース必修科目、学科選択科目から構成されています。また、自学科の他コース科目も、相互に履修することができます。興味に応じて、経営学分野と異なる他学部他学科科目（他学部が開講されている科目に限る）の履修も可能です。

2 専門教育で必要とされる英語力の養成とSAE留学との連携

- 世界標準の経営学を学び、ビジネスで活用できる英語力の養成を目指した科目が設置されています（「英語科目の履修について」（p.130）参照）。また、早期のSAE留学プログラムへの参加も可能となります（「SAE海外留学・研修プログラムの単位認定」（p.35）参照）。

③ Dual Language Program (DLP) による学び

- Dual Language Program (DLP) とは、日本語・英語両言語をとおして、経営学を学ぶ学修アプローチです。すべての科目で、両言語を活用した学修が行われます。英語表記の科目は、英語による授業が行われます。この学修アプローチによって、経営分野に必要な知識・スキルを修得し、グローバル社会で求められるアイデアの創造とその発信力をより高いレベルで養成することができます。



- 2年次から4年次に履修する学部専門科目の中には、TOEIC® L&Rのスコアが成績評価に用いられるものがあります。学年で定められた英語習得レベルの目標を達成するように学修してください。

■ 英語科目の履修について

① Dual Language Program (DLP) における英語プログラム

- 国際経営学科では、Dual Language Program (DLP) をベースとした専門教育を中心に、グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成プログラムを設置しています。
- 英語プログラムが目指す学修内容と目的は下記のとおりです。

グローバルビジネス・リーダーに求められる総合的な英語力養成に向けて

- 英語によるアカデミックスキルズ (academic study skills in English) の修得
- 英語による経営学分野の知識 (understanding business principles in English) の獲得
- 英語による批判的思考力 (critical thinking skills in English) の養成
- 英語による創造的アイデアの構築と発信 (generating ideas in English)
- ビジネス領域を含む英語力判定資格試験 (Business English proficiency) への対応

② 履修について

- 上記の英語力を養成するために Semesterごと に学部共通の英語必修科目 (33単位) の履修が定められています。
- 英語関連の必修科目は、ユニバーシティ・スタンダード科目「ELF」4科目 (16単位)、学科必修科目17単位です。また、ユニバーシティ・スタンダード科目の中に学科選択科目 (2単位) として「外国文学」が指定されています。
- 英語名称の学科科目は、英語で授業が行われます。
- 英語以外の学科科目でも、教科書、文献、その他の教材に英語で書かれたものが多く使用されます。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講科目と学修目標は次のとおりです。

	専門教育に必要な英語関連科目		専門科目への対応	修得レベル (TOEIC® L&Rを 指標とした場合)
4年次	第7セメスター	第8セメスター	英語による専門分野の授業への対応	TOEIC® L&R 700以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
3年次	第5セメスター	第6セメスター	英語による専門科目の学修	TOEIC® L&R 600以上
	選択科目としてELF等の履修が可能			
	English Proficiency Strategies A (EPS A)	English Proficiency Strategies B (EPS B)		
	<ul style="list-style-type: none"> 各種英語資格検定試験のための英語力の養成 専門教育のための英語スタディスキルズの向上 ビジネスで活用できる総合的な英語力の養成 			
2年次	第3セメスター	第4セメスター	日本語・英語による経営学の学び	TOEIC® L&R 500以上
	ELF	ELF		
	<ul style="list-style-type: none"> General Academic English の修得 国際コミュニケーション能力の養成 			
	Business English A	Business English B		
	<ul style="list-style-type: none"> 経営学分野のより専門的な知識獲得のための英語力の養成 より統合的なスタディスキルズの運用能力と発信力の修得 日常的なビジネス・シーンで使用される中級レベルの口語英語の修得 			
	Intercultural Studies			
<ul style="list-style-type: none"> 日本文化と他文化理解に必要な知識の修得 自己のアイデンティティを生かした異文化対応能力の養成 実際の事例分析を用いた問題解決能力の養成 				
1年次	第1セメスター	第2セメスター	スキル・コンテンツ統合型の英語学修スタイル	TOEIC® L&R 450以上
	ELF	ELF		
	<ul style="list-style-type: none"> General Academic English の修得 国際コミュニケーション能力の養成 			
	English for Social Science A (ESS A)	English for Social Science B (ESS B)		
<ul style="list-style-type: none"> 経営学を学ぶための導入レベルの英語の学修 経営学を学ぶための導入レベルのスタディスキルズの修得 日常的なビジネス・シーンで使用される導入レベルの口語英語の修得 				

4 3 コース制による専門教育

- 国際経営学科では、「グローバルビジネスコース」「国際会計コース」「マーケティング戦略コース」の3コースを設置し、ディプロマ・ポリシー（p.128参照）に基づく学修目標を達成するためのカリキュラムを編成しています（「コース概要」（p.132～137）参照）。

〈コース変更について〉

- 第4セメスター終了時点で、他コースへの変更が可能です。ただし、履修および学修進捗状況に遅れがある場合、卒業時期が1セメスター以上先に延びる可能性があります。
- 他コースへの変更を希望する場合には、以下の条件を満たす必要があります。
 - (1) グローバルビジネスコースおよびマーケティング戦略コースへの変更
コース変更届の提出締め切りまでにTOEIC® L&R（IPを含む）500点以上を有すること。
 - (2) 国際会計コースへの変更
コース変更届の提出締め切りまでにBATIC® Subject 1 320点以上もしくは日商簿記検定3級以上を有すること。

■グローバルビジネスコース コース概要

①「国際経営の専門性」「日本文化の発信力」「英語力」を身につけたビジネスリーダーの養成

- グローバルビジネスコースのプログラムでは就職や海外勤務希望時に有利な資格として、TOEIC® L&R 700の獲得を目指します。また企業規模を問わずグローバルに活躍できる人材を養成するために、企業経営者を招聘する科目、ケース・スタディを取り入れた実践的な授業を展開する科目を多く配置しています。各年次に講義、教材、試験等、すべて英語のみを使用して学修する科目を設けて、ビジネスの専門性に加えて英語力を徹底的に高めます。
- コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。1年次から開講する英語のみで実施する科目で、しっかり基礎を固めましょう。

授 業 科 目 名	修得レベル (資格・検定試験を 指標とした場合)
4年次 Global Case Studies グローバルビジネスゼミナールC グローバルビジネスゼミナールD	TOEIC® L&R 700
3年次 Global Business Studies Strategic Management グローバルビジネスゼミナールA グローバルビジネスゼミナールB	TOEIC® L&R 600
2年次 専門基礎ゼミナールA 専門基礎ゼミナールB	TOEIC® L&R 500

② コースの学びと将来のキャリア

- グローバルなコミュニケーションの道具としてビジネスの現場で通用する英語を修得します。グローバルな文脈でビジネスを実践するために必要な共通言語ともいえる経済学・経営学・会計学・ファイナンスなどの基本科目を世界標準で学修することで、グローバル化に対応できる問題発見・解決力、批判的思考力、発信力を身につけます。
- 異文化・多文化の理解、コミュニケーション力の向上を目標とする科目によって日本語と英語で自らの意見や考えを相手に伝える力を高め、日本文化を海外に発信できる力の修得を図ります。留学を経験すると、英語4技能（Listening、Speaking、Reading、Writing）に加えて国際感覚、異文化対応能力も一段と高まります。（「SAE海外留学・研修プログラムの単位認定」（p.35）参照）
- グローバル展開を進める日本企業やすでにグローバル化している外資系企業など、英語が必要とされる多種多様なキャリア、経営、会計、ファイナンスなどに関連する資格を生かして専門性を発揮できるキャリアを形成します。起業や事業後継においてグローバル展開を視野に入れることもできます。

③ 科目配置と学修目標

- 各年次・semester別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

	コース科目・関連科目と学修目標		資格・検定試験
4年次	第7 semester	第8 semester	TOEIC® L&R 700
	Global Case Studies グローバルビジネスゼミナールC	コーポレート・ファイナンス グローバルビジネスゼミナールD	
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外・グローバル企業で使われている経営理論・知識、海外とのビジネスに対応する力を身につける。 ・グローバル企業で活用できる英語力、経営学の体系的知識習得、海外のビジネス状況の理解、論理的な経営上の思考力を総合的に修得する。 		
3年次	第5 semester	第6 semester	TOEIC® L&R 600
	Strategic Management 経営塾 グローバルビジネスゼミナールA	Global Business Studies グローバルビジネスゼミナールB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・海外ビジネスを展開している企業の特徴と動向を分析することで、問題を発見し、解決案を提示できる。 ・グローバル企業の実態と戦略を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営管理の知識を体系的に修得する。 	
2年次	第3 semester	第4 semester	TOEIC® L&R 500
	Intercultural Studies 専門基礎ゼミナールA	国際会計基礎 基礎ファイナンス 専門基礎ゼミナールB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を取りまく地域と異なる文化的背景について理解を深め、ビジネスシーンで自己を生かす力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会計の基本思考を身につける。 	
1年次	第1 semester	第2 semester	TOEIC® L&R 450 経営学検定初級 (～1年次12月) 日商簿記3級 (～1年次2月)
	経営学	会計学	
	<ul style="list-style-type: none"> ・組織、戦略、財務、人的資源管理といった経営の基礎を修得する。 ・簿記の基礎を修得し、決算書を通して企業経営の実態を知る。 		

■国際会計コース コース概要

① 金融・ファイナンスに強い「国際会計人」の養成

- 国際会計コースではBATIC（国際会計検定）[®] 700（アカウンティングマネジャーレベル）を獲得するようにプログラムを設計しています。1年次に簿記・会計の基礎として日商簿記3級、2年次以降は英文簿記・国際会計理論へと学修を進めて2年次秋学期までにBATIC[®] 320、4年次にBATIC[®] 700の獲得を目指します。このコースではビジネス言語としての会計を日本語・英語のDual Language Programにより修得します。
- BATIC[®] 700を獲得するには簿記・会計の知識と技能に加えて英語力（とくにReading、Writing）が求められるため、TOEIC[®] L&Rなどの英語のスコアも同時に高まります。さらにファイナンス科目を配置して金融・証券市場の仕組みを深く理解するとともに、ファイナンシャル・プランニングに必要な知識と技能を身につけます。これらの目標を確実に達成して「国際会計力」を身につけるために、国際会計科目とゼミナール科目で講義と演習によって学修を進めます。希望者はラーニング・コモンズを利用して試験対策を強化することも可能です。
- コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。国際会計科目に加えて英語で授業を展開する他コース科目を積極的に履修し、英語力を高めましょう。

■国際会計

授 業 科 目 名	修得レベル (資格・検定試験を) (指標とした場合)
4年次 国際会計ゼミナールC 国際会計ゼミナールD 3年次 国際会計ゼミナールA 国際会計理論 財務会計論	BATIC [®] 700点
2年次 国際会計基礎 専門基礎ゼミナールA	BATIC [®] 320点
1年次 会計学	日商簿記3級

■金融・ファイナンス

授 業 科 目 名	修得レベル (資格・検定試験を) (指標とした場合)
4年次 コーポレート・ファイナンス	—
3年次 パーソナル・ファイナンス 2年次 基礎ファイナンス	FP3級

② コースの学びと将来のキャリア

- 会計はビジネスのあらゆる側面をデータで読み解く、世界共通の洗練されたツールです。ビジネスのコミュニケーションに会計の知識と技能は欠かせません。ビジネスのグローバルな進展と歩調を合わせるように、世界共通のルール作りも進み、まさにグローバル・ビジネスのインフラになっています。M&A（合併・買収）、コーポレート・ガバナンス、国際会計基準（IFRS）への対応といったさまざまなシーンで、会計スキルを身につけたビジネス・リーダーが求められています。会計科目に加えて密接な関連領域であるファイナンス科目の学修を進めることで、将来企業の意思決定に幅広く携わることができるようになります。
- 国際会計コースでは会計・ファイナンスの知識と技能の修得に加えて、論理的思考力、ビジネス・シーンにおけるコミュニケーション力の向上を図ります。
- グローバル企業の財務・経理・企画部門、金融機関の担当者をはじめ、米国公認会計士（USCPA）、公認会計士、税理士等の専門職として、将来のキャリアを形成することができます。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

	コース科目・関連科目と学修目標		資格・検定試験
4年次	第7セメスター	第8セメスター	BATIC® 700 (～4年次12月)
	コーポレート・ファイナンス 国際会計ゼミナールC ・資本構成、投資意思決定、M&A、リスク管理、NPVによるプロジェクト評価といったグローバル企業の経営に必須の知識・技能を身につける。 ・世界標準の会計・ファイナンスの知識・技能を活用してグローバルなコミュニケーションを円滑に図ることができる。	管理会計論 国際会計ゼミナールD	
3年次	第5セメスター	第6セメスター	BATIC® 600 (～3年次12月) FP 3級 (～3年次1月) TOEIC® L&R 550
	財務会計論 国際会計ゼミナールA ・企業の連結財務諸表を作成できる。 ・会計・財務報告基準の国際的統合の意義・プロセスを説明できる。	国際会計理論 パーソナル・ファイナンス 国際会計ゼミナールB ・世界標準で連結財務諸表を作成・分析できる。 ・資産運用、税金、保険、年金に関するプランニングを実践できる。	
2年次	第3セメスター	第4セメスター	BATIC® 320 (～2年次12月) TOEIC® L&R 500
	基礎ファイナンス 専門基礎ゼミナールA ・企業経営における会計、経済、金融・ファイナンス分野の必要性と役割を説明できる。 ・英語で会計分野における基本的な知識を身につける。	国際会計基礎 専門基礎ゼミナールB ・国際会計の基本思考を身につける。 ・具体的な事例を用いて財務分析の手法を身につける。 ・英語でビジネスの基本的な会計処理を実践できる。	
1年次	第1セメスター	第2セメスター	日商簿記3級 (～1年次2月) TOEIC® L&R 450
	会計学 ・簿記の技法を身につけ、財務諸表を作成できる。		

■マーケティング戦略コース コース概要

① イノベーションと顧客創出力を身につけたマーケターの養成

- マーケティング戦略コースのプログラムではTOEIC® L&R 600の獲得を目指します。1年次の必修科目である基礎数学、経営統計学、マーケティングで基礎を固め、まず数学検定2級、統計検定2級の合格を目指します。2年次以降のコース科目では顧客が求める商品を提供したり顧客を創造したりするために求められる、世の中のニーズを的確にとらえる力を身につけます。ビジネスにデータを活用する数理能力、商品開発や新規プロジェクトの立ち上げなどで他者と協力するチームワーク、発想を形にする企画力・実践力の修得を図ります。さらに英語のみを使用して学修する科目を設けて、英語力を高めます。
- コースワークを通して期待できる成果は以下のとおりです。詳しい科目配置と学修目標は次ページおよび教育課程表で確認してください。1年次に数学・統計学の基礎をしっかりと身につけて、2年次以降の学修に臨みましょう。

授 業 科 目 名	修得レベル (資格・検定試験を 指標とした場合)
4年次 Marketing Communication New Product Management マーケティングゼミナールC マーケティングゼミナールD	TOEIC® L&R 600
3年次 販売管理・流通 マーケティングゼミナールA マーケティングゼミナールB	リテールマーケティング(販売士)2級 TOEIC® L&R 550
2年次 専門基礎ゼミナールA 専門基礎ゼミナールB	TOEIC® L&R 500
1年次 基礎数学 経営統計学	統計検定2級 数学検定2級

② コースの学びと将来のキャリア

- 起業家の新しいアイデアや思いつき、あるいは独自技術を、どのようにビジネス化してゆけばよいのか。ビジネスのイノベーションの出発点となるのはマーケティングです。マーケティングとは顧客のニーズやウオントと企業活動/企業ビジョンとを結びつける活動であり、その目的は顧客に貢献することです。マーケティング戦略コースでは世の中のニーズの探索から商品・ブランド開発、広告販促、営業販売、流通物流、コミュニケーション、アフターケア、関係づくり等の企業のビジネス活動(市場創造活動)にかかわる職務を遂行するためのマーケティングマインド(理念と思考)、およびビジネスセンスとスキルなどのマーケティング能力を形成します。
- マーケター(企業のマーケティング担当者)、市場調査、営業販売、広告販促などのスタッフ、将来的には新規事業開発やマーケティングのコンサルタント、起業家を目指します。

③ 科目配置と学修目標

●各年次・セメスター別の開講予定科目と学修目標は以下のとおりです。

	コース科目・関連科目と学修目標		資格・検定試験
4年次	第7セメスター	第8セメスター	TOEIC® L&R 600
	Marketing Communication マーケティングゼミナールC	New Product Management マーケティングゼミナールD	
	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング戦略を、自ら企画・立案できる。 ・マーケティングおよびビジネスに関連する英語文献を読んで理解できる。 		
3年次	第5セメスター	第6セメスター	リテール マーケティング (販売士) 2級 (～3年次2月) TOEIC® L&R 550
	消費者行動論 販売管理・流通 マーケティングゼミナールA	マーケティング・リサーチ マーケティングゼミナールB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・データの統計解析に必要な基礎知識を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業のマーケティング戦略を分析・評価できる。 ・市場調査を自ら企画・実施し、データを統計解析できる。 	
2年次	第3セメスター	第4セメスター	TOEIC® L&R 500
	専門基礎ゼミナールA	マーケティング戦略 専門基礎ゼミナールB	
	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングおよびビジネスに関連する基礎的な専門用語を十分に理解できている。 ・ゼミナール内で自身の考えを論理的に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング戦略の基本的な体系を理解できていて、ゼミナール内で論理的に議論ができる。 ・英語の基礎的なビジネス文献を読むことができる。 	
1年次	第1セメスター	第2セメスター	統計検定2級 数学検定2級 (～1年次11月) 日商簿記3級 (～1年次2月) TOEIC® L&R 450
	基礎数学	経営統計学	
	マーケティング	会計学	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに必要な数学・統計学とマーケティングの基礎を修得する。 ・簿記の基礎を修得し、決算書を通して企業経営の実態を知る。 		

3 卒業要件

- (1) 修業年限を満たすこと
-
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
-
- (3) 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
-
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目を修得していること
玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」
「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
人文科学科目群：2単位以上
社会科学科目群：6単位以上（「会計学」2単位・「経営学」2単位・「マーケティング」2単位は必修）
自然科学科目群：2単位以上
学 際 科 目 群：2単位以上（「キャリア・マネジメント」2単位は必修）
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」から
4科目16単位以上
-
- (5) 学部共通科目群必修科目39単位をすべて修得していること
100番台科目：「マクロ経済学」「ミクロ経済学」「ESS A」「ESS B」「基礎数学」「経営統計学」
200番台科目：「Intercultural Studies」「企業論」「基礎ファイナンス」「Business English A」
「Business English B」「専門基礎ゼミナール A」「専門基礎ゼミナール B」「企業倫理」
300番台科目：「EPS A」「EPS B」
400番台科目：「経営法務」
-
- (6) 各コースが指定する必修科目32単位をすべて修得していること
【グローバルビジネスコース】
200番台科目：「国際会計基礎」
300番台科目：「Strategic Management」「経営塾」「Global Business Studies」
「グローバルビジネスゼミナール A」「グローバルビジネスゼミナール B」
400番台科目：「コーポレート・ファイナンス」「Global Case Studies」「グローバルビジネスゼミナール C」
「グローバルビジネスゼミナール D」
-
- 【国際会計コース】
200番台科目：「国際会計基礎」
300番台科目：「財務会計論」「国際会計理論」「国際会計ゼミナール A」「国際会計ゼミナール B」
「パーソナル・ファイナンス」
400番台科目：「コーポレート・ファイナンス」「管理会計論」「国際会計ゼミナール C」「国際会計ゼミナール D」
-
- 【マーケティング戦略コース】
200番台科目：「マーケティング戦略」
300番台科目：「消費者行動論」「販売管理・流通」「マーケティング・リサーチ」「マーケティングゼミナール A」
「マーケティングゼミナール B」
400番台科目：「Marketing Communication」「New Product Management」「マーケティングゼミナール C」
「マーケティングゼミナール D」

4 卒業までの単位配分

科目群	科目分類		必要単位			
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE 科目群		7単位			
	人文科学科目群		2単位			
	社会科学科目群		6単位			
	自然科学科目群		2単位			
	学際科目群		2単位			
	言語表現科目群		16単位			
学科科目	必修科目		100番台科目	11単位	39単位	
			200番台科目	20単位		
			300番台科目	4単位		
			400番台科目	4単位		
	コース別必修科目	グローバルビジネスコース必修科目		200番台科目	4単位	各コース 32単位
				300番台科目	16単位	
				400番台科目	12単位	
		国際会計コース必修科目		200番台科目	4単位	
				300番台科目	16単位	
				400番台科目	12単位	
		マーケティング戦略コース必修科目		200番台科目	4単位	
				300番台科目	16単位	
400番台科目				12単位		
自由選択科目	自学科選択科目、他学部他学科科目、他大学との単位互換科目、ユニバーシティ・スタンダード科目		任意			
卒業に必要な単位数			124単位以上			
卒業に必要なGPA数値			累積GPA2.00以上			

1 卒業延期の場合の卒業要件

- 卒業延期となった場合には、第9セメスター以降、以下の条件を満たしたときに卒業となります。ただし、履修下限は2単位、履修上限は16単位です。

卒業に必要な124単位以上を修得したうえで、累積GPAが2.00以上となった場合

5 資格取得等による単位認定

- 資格取得・検定試験合格（資格取得等）を促進するために、以下のとおり資格取得等により認定基準に達した場合に対象科目の単位を認定します。

■ 学科共通科目

授業科目名	単位数	配当年次	認定基準
会計学	2	1	日商簿記検定 3 級
経営学	2	1	経営学検定初級
経営統計学	2	1	統計検定 2 級
ESS A	1	1	TOEIC® L&R 500
ESS B	2	1	TOEIC® L&R 500
Business English A	4	2	TOEIC® L&R 600
Business English B	4	2	TOEIC® L&R 600
EPS A	2	3	TOEIC® L&R 650
EPS B	2	3	TOEIC® L&R 650

■ コース科目

授業科目名	単位数	配当年次	認定基準
国際会計基礎	4	2	BATIC® 320
国際会計理論	4	3	BATIC® 600
パーソナル・ファイナンス	4	3	3 級ファイナンシャル・プランニング技能士
販売管理・流通	4	3	リテールマーケティング（販売士）2 級

■ 留意事項

- 所属するコースに関わらず、すべての対象科目の単位認定を申請できます。
- 単位認定を受けようとする学期に、履修上限の範囲内で対象科目を登録してください。
- 「C・F評価科目の再履修制度」（p.49参照）を利用できます。
- 当該制度によって単位を認定した科目の成績はS評価とし、GPAに加算します。
- 科目を履修した学期の指定期日までに申請した受験結果に基づいて単位を認定します。入学前の受験結果でも構いません。ただし以下の6科目については申請期限前1年以内のスコアのみ有効とし、各年次にA・Bいずれか一方の科目のみ申請できます。
「ESS A」「ESS B」「Business English A」「Business English B」「EPS A」「EPS B」
- 認定基準よりも上位の級・スコアに達した場合にも単位を認定します。
- BATIC® にはSubject 1（英文簿記）とSubject 2（国際会計理論）があるため、第6セメスター以降に対象科目を未修得であるまたはC評価科目の再履修として履修している場合には、BATIC® 600を獲得することによって「国際会計基礎」「国際会計理論」のいずれも単位を認定します。
- 認定基準としている資格・検定試験の結果に基づいて他の学科科目の単位を認定したり成績に反映させたりすることはできません。
- 停学処分を受けた学生について、履修登録時に本学が定める授業への出席要件を満たせないことが判明している場合には、「資格取得等による単位認定」の制度を利用できません。

6 警告制度と注意

1 警告

- 本学では「警告制度」を定め、基準を満たせない場合には「警告」を受けます。(p.37参照)

2 注意 2022年度より「注意制度」廃止

- ~~下記のaまたはbに該当する場合、「注意」を受けます。~~

年次	1		2		3		4	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
a. セメスター終了時の累積修得単位数が右の単位数未満	15	32	47	60	76	92	108	当該セメスターでの卒業が不可能な学生
b. 累積GPAが右の値未満	2.20							

- ~~「注意」を受けるということは、卒業が延期になる可能性が高いということを示します。~~
- ~~「注意」を受けるのは、十分な学修上の成果があげられていないときです。その場合は学部の教員から、履修内容や学修の方法に関してアカデミック・アドヴァイスを受けることができます。~~
- ~~アカデミック・アドヴァイスとは以下のようなものがあります。~~
 - ① ~~履修相談全般（履修方法、履修科目について）~~
 - ② ~~履修計画~~
 - ③ ~~履修状況の確認・注意（セメスター修得単位数、累積単位数、累積GPA数値等）~~
 - ④ ~~履修取消~~
 - ⑤ ~~学修方法に関するアドヴァイス~~

▶警告

参照「履修ガイド」
p.37

▶GPA計算例

参照「履修ガイド」
p.32

7 履修上の留意事項

① 「インターンシップA～D」について

- これらの科目は、主に夏季休暇中、および春季休暇中に開講されるため、セメスターの履修上限外の科目です。履修希望者は、セメスターの履修上限枠を超えて履修することができます。夏季休暇中に実施される場合は春セメスター中に、春季休暇中に実施される場合は秋セメスター中に履修者募集およびガイダンスが行われます。履修許可が出た学生は、科目担当教員の指示に従ってください。
- これらの科目履修にあたっては、学部が定める一定の条件の充足および事前、事後の研修への参加が義務づけられています。なお、単位は次のセメスターで認定されます。

② 海外留学制度（SAE プログラム）について

- 経営学部では原則として2年次以降、海外提携大学への半年間の留学が可能です。1年間の留学については、留学の時期により、可能な場合もあります。1年間の留学を希望する場合は、必ず教務担当教員に相談してください。ただし、応募するには指定された資格検定試験（TOEFL、IELTSなど）等の規定を満たさなければいけない大学もあります。
- 海外の提携大学に留学し、単位を修得できた場合には、修得単位の中から本学のカリキュラムに対応する科目を、各セメスター16単位を上限に本学の卒業必要単位に充当させることができます。
- なお、留学先で修得した単位が、科目の性質上本学の単位として認定されない場合もあります。